

東淀川区区政会議 健康・福祉部会 議事概要

※枠内は委員意見、枠外は職員

日時・場所 平成 29 年 9 月 28 日(木)午後 7 時から 8 時。東淀川区役所 3 階 304 会議室

出席者 健康・福祉部会委員 8 名

議題 1 東淀川区将来ビジョン～2022 年に向けて～（案・修正版）について

- ・「福祉と健康にみんなで取り組むまち」と、福祉と健康の記載の順番を入れ替えた。
- ・前回、統計データについて、通院率の統計についても記載できないかという意見をいただいたが、通院率について有効な統計資料がないため反映せず。

議題 2 平成 30 年度東淀川区運営方針（原案・修正版）について

- ・経営課題 3：将来ビジョンの修正にあわせ、健康と福祉の順番を入れ替え
- ・経営課題 3－2①「健康寿命の延伸」についての取組みに「受動喫煙」を追記
- ・高齢者や障がい者などとのつながりを地域でどうつくっていけばいいかの質問があったが、各地域に提供の要援護者リストを挨拶のためのツールとして活用いただきたい。

（タイトルについて）

○健康を前にした方が、住民がみずから健康を意識して自分で取り組む姿勢が前に出るのでは。福祉を前に持ってきたら、地域住民は福祉を受けるという受動的なイメージにならないか。

- ・これからの福祉はみんな一緒にやっていくイメージを持ってやっていきたい。健康も大事だが、みんなで支えあっていくというほうを先にした。

（高齢者の在宅医療・介護連携について）

○支え合いが重要とあるが、専門職同士での連携を意味しているのか。地域住民の共助も含まれるというほうがいいのでは。

- ・もともと地域包括ケアシステムの中に在宅医療・介護連携があり、専門職種の方にやっていたが、それを地域の中に広げていくところを地域の方にもしていただきたいという思いで支え合いという言葉を使っている。

（要援護者の見守りについて）

○見守り名簿を挨拶のツールにするとは具体的にどういうことか。

○見守り名簿を非常時に使うだけでなく隣近所の付き合いをどう活性化するか、町会や地活協、役所でしっかり議論しつなげることが大事。

- ・要援護者の見守りのネットワーク事業で、対象となる高齢者や障がい者などの方に、ご自身の情報を地域のほうに提供していいか確認し、同意を得られた方の名簿を地域にお渡ししている。その名簿で地域でその方を訪問していただくなどの活動のツールにいただき、異変に気付けるようなつながりづくり・おつきあいのきっかけになればいいと思う。
- ・市政改革プラン 2.0（区政編）でも身近な地域でのつながりづくりを重点的に行う方向性。

議題 3 市政改革プラン 2.0（区政編）に基づく平成 29 年度運営方針（改定案・修正版）について

- ・太字部分を追記